

ミニ・チェアの製作に当たって、以下の A、B の2つのプログラムを考案した。

A 30mm×20mm の角棒と、5mm のベニヤを用い、脚と背もたれ板、座板をつける。  
このとき、最小限の鋸引き、釘打ち、ネジ締めができるように、キッドを製作する。

B A をネジ締めだけで、組みあがるように、キッドを製作する。

- ・A の場合は、木工にとって基本的作業のほとんどが含まれている。
- ・B の場合は、簡単な道具（ドライバー1本）だけで作業できるので、作業条件が十分整わない場所でも行えるという手軽さがあり、一部分解して持ち運びの便宜に対応することもできる。
- ・双方ともキッドに、釘・ネジ釘穴をあけておく。受け材の方はあけない。

A、 B とも同材を使用するものとする。

・寸法を整理し、できるだけ同寸もしくは関連のある寸法とした。

・ホワイトウツドの 30mm×40mm 角 を二つ割りにして使用する。（在庫多く加工が簡単）

前脚	30mm×20mm×100mm	2本
後脚	30mm×20mm×200mm	2本
座の棧	30mm×20mm×100mm	2本
背もたれ板、座板	ベニヤ厚さ 5mm 90mm×120mm	2枚

[A の製作プログラム] ①-③は、B の製作プログラムの説明を参照

- キッド
 

角棒	30mm×20mm×200mm	4本
ベニヤ厚さ5mm	180mm×120mm	1枚
- 鋸引き
 

角棒2本を半分に切り、前脚と座の棧を作る。  
ベニヤ 180mm を半分に切り 90mm×120mm 2枚とする。
- ネジ締め
 

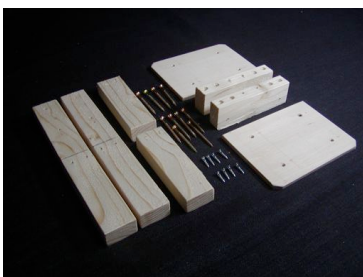
後脚に座の棧を直角に取り付ける。高さは前脚の寸法を、鉛筆で線を引いておく。  
前脚に座の棧を直角に取り付ける。  
座の棧を合わせ、前脚の間より、座の棧をネジで締める。
- 釘打ち
 

背もたれ、座板を釘で打つ。

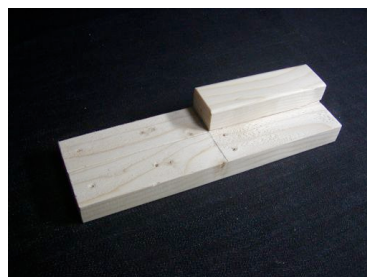
[B の製作プログラム]

- キッド
 

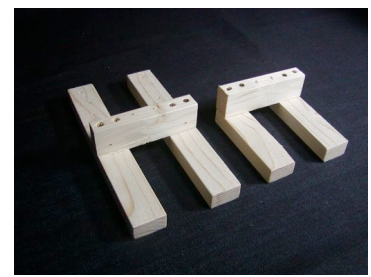
前脚	30mm×20mm×100mm	2本
後脚	30mm×20mm×200mm	2本
座の棧	30mm×20mm×100mm	2本
背もたれ板、座板	ベニヤ厚さ 5mm 90mm×120mm	2枚



キッドの部品



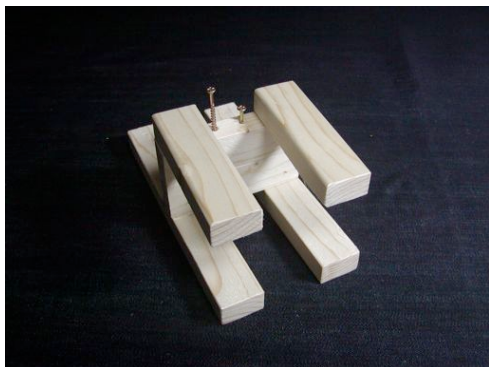
後脚に前脚の高さを記す



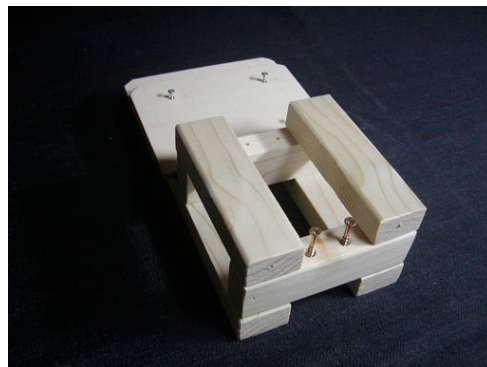
後脚に座の棧、前脚に座の棧

- ② ネジ締め 後脚に座の棧を直角に取り付ける。高さは前脚の寸法を、鉛筆で線を引いておく。  
前脚に座の棧を直角に取り付ける。  
座の棧を合わせ、前脚の間より、座の棧をネジで締める。  
背もたれ板、座板をネジで留める。

- ③ 座板を外し、前脚のネジを外して、逆さまに合わせると、体積が半分になり、組み立て、持ち運びが便利になる。



座の棧を合わせてビス留め



ビス止めを外し、反転させると  
ボリュームが半分に！



背もたれ板、座板を取り付ける前  
これだけでも、チェア？

座板を取り付け完成

- これを基本として、種々のバリエーションのチェアが考案・製作できる。